

令和4年度(2022年度)モニタリングシート

施設名	八王子市市民活動支援センター
-----	----------------

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)		
		所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)					
施設 の 管 理 ・ 運 営 を 安 定 し て 行 う こ と が で き る か	定量的														
	支援センター会議 1回/月	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。	B		毎月原則第1金曜日に定例センター会議を行っている。この会議はセンターに関わるスタッフ全員が原則出席することになっており、運営についての報告、課題などを共有する。なお、ZOOMによる遠隔会議を併用している。		
	支援センター部門会議(啓発、情報、広報、ファンド) 1回以上/月)	B		各部門の月1～2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	B		各部門の月1～2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	B		各部門の月1～2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。	B		各部門の月1～2回の定例の打合せに加えて、適宜打合せを行っている。また部門を横断しての情報共有にも努めている。		
施設 の 管 理 ・ 運 営 を 安 定 し て 行 う こ と が で き る か	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例:銀行口座】	B		支援センター専用の銀行口座を開設し、インターネットバンキングで効率化を図っている。また、通帳は施錠保管している。	B		支援センター専用の銀行口座を開設し、インターネットバンキングで効率化を図っている。また、通帳は施錠保管している。	B		支援センター専用の銀行口座を開設し、インターネットバンキングで効率化を図っている。また、通帳は施錠保管している。			
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例:独立した会計帳簿】	B		担当者が入金伝票を作成し、上長が承認、NPO会計ソフトに部門別に適切な勘定科目で入力しているため、独立した会計帳簿が作成されている。また、キャッシュレス化を推進し、なるべく現金の管理は無くすようにしている。	B		担当者が入金伝票を作成し、上長が承認、NPO会計ソフトに部門別に適切な勘定科目で入力しているため、独立した会計帳簿が作成されている。また、キャッシュレス化を推進し、なるべく現金の管理は無くすようにしている。	B		担当者が入金伝票を作成し、上長が承認、NPO会計ソフトに部門別に適切な勘定科目で入力しているため、独立した会計帳簿が作成されている。また、キャッシュレス化を推進し、なるべく現金の管理は無くすようにしている。			
			コピー機等使用料や講座の受講料などの徴収は適正に行われているか 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B		コピー機使用料や講座の受講料は日々記録し、会計担当者が入金伝票で適切な部門に計上されている	B		コピー機使用料や講座の受講料は日々記録し、会計担当者が入金伝票で適切な部門に計上されている	B		コピー機使用料や講座の受講料は日々記録し、会計担当者が入金伝票で適切な部門に計上されている	B		コピー機使用料や講座の受講料は日々記録し、会計担当者が入金伝票で適切な部門に計上されている
	定性的	収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例:事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B		毎月、事業計画に基づいて予算の執行の進捗状況を確認して、会計担当はその適正性を管理している。	B		毎月、事業計画に基づいて予算の執行の進捗状況を確認して、会計担当はその適正性を管理している。	B		毎月、事業計画に基づいて予算の執行の進捗状況を確認して、会計担当はその適正性を管理している。	B		毎月、事業計画に基づいて予算の執行の進捗状況を確認して、会計担当はその適正性を管理している。
			管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例:事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ合わせて業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ合わせて業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。	B		スタッフの専門性や適性に基づいて事業の担当を配置している。また、常勤、非常勤を適切に組み合わせ合わせて業務を運営している。スタッフが希望する外部研修にも参加を促している。最近では他団体から講師として要請されるスタッフも出てきた。		
				給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例:給与規程・賞金台帳】	B		各自が提出した勤務表に基づいて、労務事務担当者が適切に行っている。	B		各自が提出した勤務表に基づいて、労務事務担当者が適切に行っている。	B		各自が提出した勤務表に基づいて、労務事務担当者が適切に行っている。		
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B		業務の一括委託が行われていないが、一部専門的な役割については、第三者との業務委託契約書を作成し、委託しているものもある。	B		業務の一括委託は行っていないが、一部専門的な役割については、第三者との業務委託契約書を作成し、委託しているものもある。第三者委託契約先は年度初めに市に提出している。									
施設 の 運 営 に お い て 公 共 性 、 公 平 性 、 公 正 性 が 図 ら れ て い る か	定量的	開館日数 308日/年 通常休館日 53日/年 月曜振替休館日 4日/年									B				
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例:条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B		規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。	B		規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。	B		市との協定に従い、規程の開館日数、開館時間を厳密に遵守している。			
			文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例:ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。	B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。	B		個人情報や会計文書は施錠できる場所に保管している。職員の帰宅時(閉館時)は施錠を行うことを徹底している。情報セキュリティマニュアルを見直し改訂版を作成した。			
			施設の保全・管理が適切に行われているか 【確認資料例:事業報告書・実地調査】	B		施設に関しては、清潔、安全に配慮して管理している。利用者が快適に使用できるように、つわに配慮している。	B		施設に関しては常に清潔、安全、快適な空間となるように配慮している。特にコロナ禍においては、机や椅子の消毒を使用の毎に行っている。また、リーススペースなどの誰でも利用できる空間は、入りやすく親しみやすいレイアウトやディスプレイを心掛けている。	B		施設に関しては常に清潔、安全、快適な空間となるように配慮している。特にコロナ禍においては、机や椅子の消毒を使用の毎に行っている。また、リーススペースなどの誰でも利用できる空間は、入りやすく親しみやすいレイアウトやディスプレイを心掛けている。			
備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。	B		備品台帳を整備し、年に一度は備品台帳との照らし合わせを行うなど、適正に管理を行っている。						

令和4年度(2022年度)モニタリングシート

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設されているサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図	定量的 広報紙発行 5000部/隔月(奇数月)	B		年6回奇数月に発行している。今期は5月に発行している。限られた紙面を補うために、QRコードを活用することによって、動画や他の情報を紹介することもできている。	B		7月に109号、9月に110号を発行した。109号はフアンリレーションについて、110号はNPOフェスティバルを特集した。見やすさ、読みやすさを重視して市民活動やセンターのアピール度を高める紙面づくりを心がけた。限られた紙面を補充するためにQRコードを活用することも定着し、情報の拡大も実現している。また、新たな配布場所も開拓している。	B		111号(11月1日)112号(1月1日)をそれぞれ10月、12月下旬に発送した。3年前から始めたQRコードを利用し紙面と動画を結び付け情報量を増やす試みが定着し、112号のリニューアルした「はちこみねっ」との活用方法紹介も紙面だけでは伝えきれない情報も提供できた。また、メールマガジン、広報紙をfacebookからも読めるようにして、更に多くの方に読んでもらえる環境をつくった。	B		112号(1月1日)113号(3月1日)をそれぞれ12月、2月下旬に発送した。3年前から始めたQRコードを利用し紙面と動画を結び付け情報量を増やす試みが定着し、112号のリニューアルした「はちこみねっ」との活用方法紹介も紙面だけでは伝えきれない情報も提供できた。また、メールマガジン、広報紙をfacebookからも読めるようにして、更に多くの方に読んでもらえる環境をつくった。
	定性的 利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B		利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B		苦情相談・要望台帳を作り、苦情・要望に関してはスタッフ間で共有し、適切に対応するようにしている。	B		苦情相談・要望台帳を作り、苦情・要望に関してはスタッフ間で共有し、適切に対応するようにしている。	B		苦情相談・要望台帳を作り、苦情・要望に関してはスタッフ間で共有し、適切に対応するようにしている。相談に関しては過去の相談をデータ検索できるようにして、過去の相談履歴を相談の連続性に役立っている。
	定量的 電気使用量及び水道使用量の過去3年[令和元年度(2019年度)~令和3年度(2021年度)]平均比100%以下/年											B	
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的 アクティブ市民塾 6回/年	B		第1四半期については第1回目「就労支援の現場を見に行こう!」、8/11 プレーパークを知ろう・体験しよう!、9/28あなたのアイデアを大切にしませんか? を開催。それぞれ、この八王子で障害者の就労、子どもの育成、高齢者の健康福祉を目的に活動している団体を、多くの市民に紹介でき、共感を得ることができた。多世代、多様な方々に向けたアクティブ市民塾になるように心がけている。	B		7/1 障害のある方に寄り添う就労支援の現場を見に行こう!、8/11 プレーパークを知ろう・体験しよう!、9/28あなたのアイデアを大切にしませんか? を開催。それぞれ、この八王子で障害者の就労、子どもの育成、高齢者の健康福祉を目的に活動している団体を、多くの市民に紹介でき、共感を得ることができた。多世代、多様な方々に向けたアクティブ市民塾になるように心がけている。	B		必要にしている方々に食料を届けているフードバンク八王子えがおと、高齢者へ食の提供・配食及び、子ども食堂・子どもの居場所を提供する活動をしているハッピーステーションきよびーの活動内容・現状・今後の取り組みを紹介し、どのように連携できるかについて話し合った。その場でボランティアとして登録し、連携の申し出もあり、テーマのとおり連携が生まれ、学びが多いものになった。	B		2月12日に八王子お手玉の会がお手玉の歴史と活動内容を紹介し、参加者とお手玉を一緒に作った。遊びを通して、小学生から80代の方で多世代の交流もでき、次世代にお手玉の魅力を伝えることができた。3月11日はユーモアスピーチの会「くらしに笑いを」開催。日常に笑いを取り入れることでくらしを豊かにする活動をしている会である。八王子地域で、長く地道な活動を続けている2団体を紹介することができた。
	定量的 NPOパワーアップ講座 全6回/年			8月24日を第1回とし、最終2月26日まで、今年度は7回の講座を予定している。(組織編2回、会計・資金調達編3回、情報1回、プロボノ1回)	B		8/24 強くてあたたかい組織・コミュニティをつくるポイント、9/14 みんなの気持ちがグッと高まるミーティングの基本を開催。団体の運営に関わっている受講者が多く、どちらの講座からも多くの学びがあり、またワークショップで他団体の話を聞いたり、自団体の悩みを聞いてもらったりできた。組織づくりのためにとっても有意義な講座だったとの感想が多数だった。	B		パワーアップ講座全7回のうち、10月、11月、12月に会計、資金調達、助成金の講座を実施した。市民活動のお金に関する定着の講座だが、団体が活動するうえで悩みも位に常に資金や会計があるので、申し込みも多く有意義な講座になった。受講者すべてからとても良い〜良いの評価をうけた。	B		第6回 人が集まる!「講座とチラシの作り方」を1/25に、第7回 その「困った」をサポートします。これが八王子のプロボノだ! を2/16に開催。チラシ講座には36名が参加。内容の質の高さ、講師の話し術とテンポの良さ、第2弾を望む声など、多くの好意的なご意見をいただいた。プロボノ講座は、パワーアップ講座としては今回初めてテーマに採り上げた。様々な団体の困りごとを、プロボノと共に考える講座であり、外部の力も活用する道を示す、有益な講座となった。この流れを継続すべく、プロボノ講座は2023年度も開催する。
	定性的 市民活動実践講座 1回/年			第2四半期に7月29日に「NPO活動とコミュニティの大切さ」を予定している	B		7月29日「映画「ブータン山の教室」から地域コミュニティの大切さを学ぶ」を実施した。先着110名の定員がすぐにいっぱいになった。映画を自前で参加した人も多かったが、映画の前後に地域コミュニティと市民活動の重要性をテーマにした講演を組み合わせたことで、市民活動や市民活動支援センターに興味を持った方も多く、それをきっかけとして後日活動相談にセンターに来た方もいて、市民活動参加者が増やし、市民活動のすそ野を広げることが出来た。	B			B		
	定量的 市民活動支援講座 11回/年	A	メタバースは仮想空間内にある「場」に集まってコミュニケーションが図れ、市民活動に有効な手法であることに着目し、いち早く支援講座内で体験の機会を提供したことを評価する。	4月に新しいコミュニケーションツールであるメタバースの活用、5月にZOOM講座、6月にfacebookページ入門講座と第1四半期だけで3回終了した。今年度はスタッフ全員が、自分の専門、得意な分野で支援講座を11回実施する予定である。コロナ禍で急速に必要なZOOMやSNS、動画を使った発信方法やチラシの作り方、NPOの会計など、市民活動団体に今必要な、支援となる講座を効果あるように実施している。	B		7月に「Googleフォームを使ってみよう」、8月に無料ソフトCanvaを使って「NPO活動に役立つ簡単チラシづくり」9月に「NPO活動に備える防災講座」を開催した。Googleフォームをつかったアンケートフォームづくりや、フリーソフトを使ったチラシづくりは、自分達の活動がワンランクアップする手法を習得できた好評だった。当日はさいたま市の市民活動サポートセンターからも視察に来て、当センターの広報の取り組みについて紹介した。防災講座は企業からの提供講座とし、市民活動と企業の連携が進んだ試みとなった。	B		10月21日プロボノを活用するための紹介講座を行った。プロボノをする側、受ける側の事例を紹介しプロボノとはどんなものかを市民、団体の参加者に説明した。参加者も多く盛況な講座となった。12月4日に「動画」で伝える! あなたの活動～ 無料動画編集アプリ「VLLLO」で学ぶ、はじめての動画編集～: 動画製作の一連のプロセス(企画・撮影・編集・書き出し)を体験し、動画づくりの流れを実践する講座を開催した。12月17日には動画で学ぶ～お金の勘定・会計から知る NPOらしさを大型モニターを利用して開催した。	B		1月13日 思いを伝える広報紙～自分たちの活動の魅力を発信しよう～を、開催。2022年度は、市民活動団体を支援するための講座を10テーマ選択し、その全講座を(初の試みとなる)支援センター職員が講師を務める形で開催。センター職員のスキルアップや費用抑制にもつながった。
	定性的 八王子コミュニティ活動応援サイト「はちこみねっ」との適正な管理団体登録・承認作業等/随時	B		新システムの移行に伴う手続きを進めているが、各団体への対応をきめ細かく行っている。移行手続きが煩雑なため、各団体からの質問や問い合わせが多くあるが、一つずつ丁寧に対応しており、この対応により「はちこみねっ」の利用が遠のいていた団体もこれを機に利用する団体が増えた。	A		より使いやすいサイトを構築するため、業者との調整を重ね、新システムへの移行準備を進めた。登録団体には、操作講習会を複数回実施し、操作説明を動画で作成するなど「はちこみねっ」の活用促進を図った点を評価する。	A		リニューアル前の最終移行確認などに向けて登録団体への対応を行った。移行の意思確認ができていない団体への意思確認の作業は思った以上に時間を要した(継続中)。団体向けマニュアルの作成。リニューアル後は、登録団体向けのログイン練習会、イベント・講座練習会、マイメディア作成練習会と内容を細かく分けて練習会を7回(11月)開催。講習会を2回(12月)開催。日程が合わない方への個別講習、電話・メールでの個別対応を多数行った。新「はちこみねっ」の不具合を元氣365と連絡を取りながら対応している。新システムの移行についての問い合わせは今も多数あるが、担当者が適切に対応している。	A		11月1日に「はちこみねっ」をリニューアルしたが、移行の意思確認ができていない団体への意思確認の作業を引き続き行ったが思った以上に時間を要した(継続中)。団体向けマニュアルの作成。リニューアル後は、登録団体向けのログイン練習会、イベント・講座練習会、マイメディア作成練習会と内容を細かく分けて練習会を7回(11月)開催。講習会を2回(12月)開催。日程が合わない方への個別講習、電話・メールでの個別対応を多数行った。新「はちこみねっ」の不具合を元氣365と連絡を取りながら対応している。新システムの移行についての問い合わせは今も多数あるが、担当者が適切に対応している。

令和4年度(2022年度)モニタリングシート

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
	「ゆめおりファンD」人財による団体支援 3団体以上/年	B		現在3団体の支援に対応している。ホームページ、SNS、チラシづくりへのプロボノが主である。	B		地元企業から過去最大級の物品寄付を受けて、8月に他市も含めて24団体に物品を提供することができた。その他9月には5団体に提供をした。人財支援についてはセンター登録団体や来訪者のなかからプロボノ登録につながるケースが最近数件あり、被支援団体の選択肢の更なる充実となる。	B		地元企業から過去最大級の物品寄付を受けて、前四半期に実施した配布の整理を行った。引き続き物品提供先との調整を行う。人財支援については10月のプロボノ説明会、11月のフォーロー会などプロボノの啓発につとめてプロボノの団体市民への理解を深めた。	B		1月に、物品支援にご理解とご協力いただいた企業3社に協議会から感謝状を贈呈し、感謝の意と継続的支援をお願いした。人財支援は、12月に実施したプロボノ交流会のフォローアップとして2団体に対する支援を行い、短期間で成果物を提供した。2月はプロボノをテーマとしたパワーアップ講座を実施し、ワーカー新規登録4名と支援案件が6団体から出され、団体の間にプロボノ支援についての認知が一層進んだことを実感できた。	
	NPOフェスティバルの開催 1回/年			今年度は秋に開催する「東京都産業交流拠点・東京たま未来メッセ」で行う。すでに30団体以上の参加申し込みがあり、現在実施に向かって準備を進めている。			11月3日「東京たま未来メッセ」での開催に向けた準備を行っている。2度の参加団体説明会、会場現場確認を経て、会場レイアウト図の作成、各提出書類の作成、チラシの配布などを行った。用意した80ブースがすでにほとんど埋まっている。学生ボランティア募集を行ったが、20人以上の応募があった。	A	新規に開設された東京都の施設「東京たま未来メッセ」を会場に多くの学生ボランティアの協力を得るなど、多世代が協力して開催し、多くの団体間の交流を図るイベントとなったことを評価する。	A		11月3日「東京たま未来メッセ」で開催した。展示、ステージ合わせて65団体の参加があり、来場者・関係者合計で推計2000人以上の参加となる過去最大級のイベントとなった。八王子市の市民活動を発信する場、多くの市民と団体が交流する場となり、事後のアンケートでも多数の好評をいただいた。学生ボランティア、一般ボランティアも60名以上参加。		
	交流会の開催 5回/年			第2四半期から実施する。1回目は7月10日「地域で育てる子育て」をテーマに子育て、子ども関係団体や関係者を交えての交流会を準備中である。	B		7月10日「子ども・子育てをみんなで支えるまちづくり」で地域での子育てについて意見交換を行う交流会、8月4日には「中学生によるまちづくりの政策提言を視聴して、八王子のまちづくりをかんがえる」交流会を実施した。特に「地域で子育てを考える」7月の交流会後、①センターへの新規登録②地域での防災・育児の活動での連携(2団体)③参加団体への加入(2名)④センターでの相談につながった(1団体)⑤今後団体を立ち上げる予定につながった(2名)など連携成果が多くあった。				B		3月19日「みんなでできるニューススポーツでお互いを知ろう」を実施。園児～80代の方、外国人、障害を持つ方、31人(定員超)が参加。指導のレクリエーション協会のベテランの皆さまとチャリティサンタ多摩支部の学生ボランティアの協力を得て、スムーズに実施できた。ニューススポーツを通して、参加者は自然と話し合い、チームで一緒になり、知らない市民同士の連携ができた。今回の目的(ニューススポーツをきっかけとした多世代への理解、多世代での交流と連携)を達成できた。	
	はちおうじNPO会議 1回/年			第4四半期に実施予定である。			第4四半期に実施予定である。			第4四半期に実施予定である。	B		2月26日に3年ぶりの対面での開催となった。(会場は東京たま未来メッセ会議室)テーマは「これまでの20年でNPOはどう変革したか」で今後の市民活動発展のために必要なことを、講演、セッション、意見交換の3部形式で開催した。市民活動支援センター開設から20年が経つ時期でもあり、「市民活動に関して時代とともに政策が変化してきたことやNPOの位置づけをよく理解できた」との意見が多数あった。今後はここでの議論をフィードバックするための議論を設けたいと思う。	
	定性的 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	B		照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。	B		照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。	B		照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。特に今年は節電には細心している。	B		照明、エアコンの温度調整をこまめに行い節電に努めている。また、物品の購入など、センター管理全体について、環境に配慮した管理・運営を行っている。特に今年は節電には細心している。
個人 情報 保護 管理 及び 危機 管理 が 図 ら れ て い る か	定量的 防災訓練 1回/年	B		ビル管理事務所の指導に基づいた自主防災訓練に加え、6月26日に、国際学生ボランティア「IVUSA」とともに、ワークショップを併用した防災訓練をスタッフ全員参加で行った。						11月11日に自衛消防訓練を行った	B		毎年必ず防災訓練を行っている。今年度は6月に学生の防災ボランティアと一緒にロールプレイなどを織り交ぜた訓練を行い、11月には自主消防訓練を行った。	
	個人情報の取り扱いが適切であること	B		個人情報については鍵のかかる場所に保管している。また、個人情報保護マニュアルは定期的に見直ししており、今年度も見直し作業を予定している。	B		個人情報保護マニュアルの見直しを行い、8月に個人情報保護の勉強会を行った。	B		個人情報保護マニュアルの見直しを行い、現在改訂作業を行った。	B		個人情報保護マニュアルの見直しを行い、改訂作業を行った。	
	定性的 緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例:保険証券】	B		保険に加入し、適時更新している。	B		保険に加入し、適時更新している。	B		保険に加入し、適時更新している。	B		保険に加入し、適時更新している。
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B		防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるよう体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。	B		防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるよう体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。11月11日には自衛消防訓練を行った。6月にも防災訓練実施。	B		防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるよう体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。11月11日には自衛消防訓練を行った。	B		防火・防災管理者を定め、災害発生時の役割分担を決めている。緊急連絡網を整備して、対応が適切に行われるよう体制を整えている。また、定期的に防災訓練を実施している。11月11日には自衛消防訓練を行った。6月にも防災訓練実施。

B

期末総合評価	
所管課コメント	令和4年度(2022年度)は、5年間の指定管理期間の2年目となった。市民活動支援センターの指定管理者である特定非営利活動法人八王子市民活動協議会は、その実績や経験を活かしながら、基本協定及び年度協定に基づいた適正な施設の管理運営を行ったといえる。利用者への満足度調査では、スタッフの対応をはじめ各項目において高い満足度を維持しており、全体的な満足度は「満足」「やや満足」が99%を占めるなど、多くの市民に満足度の高いサービスを提供している。11月1日にリニューアルした八王子市コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の運用では、新たなマニュアルの作成や操作講習会の開催など、活用促進に努めたことは評価できるものである。また、新規に開設された東京都の施設「東京たま未来メッセ」で開催した「はちおうじNPOフェスティバル」についても、学生を含む多くのボランティアの協力を得て、約2,900人が参加するイベントとなり、多くの団体や市民が交流できる場となったことは評価できるものである。令和5年度(2023年度)も引き続き市民活動支援センターの周知を積極的に行い、特に利用の少ない曜日や時間帯の利用者の増加を図るとともに、市民の市民活動への関心を高める企画や団体間の連携を図る事業の実施などにより、中間支援組織として市民活動の促進を図ることを期待する。